

学修成果指標（動物分野 — 認定動物看護師職種）

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能					責任と自律性	
			汎用的な技能	職務上の技能				自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能		
8	<ul style="list-style-type: none"> 博士（生物学） 動物看護師長 チームマネジメントと一定水準以上のジェネラルな能力開発 専門学校(2)卒業後20年経過 	専門的実務／学問分野において最先端のフロンティア。新しい専門的実務や知見につながる分野横断的な視点・知識・理解	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル	専門的実務や学問の最前線で、新しいアイデア・プロセス開発に対する権威、自律性、学術的・専門的な誠実性および持続的な関与	専門的実務や学問の最前線で、新しいアイデア・プロセス開発に対する権威、自律性、学術的・専門的な誠実性および持続的な関与
		<input type="checkbox"/> 職能団体・学術団体等の活動に対する協力、社会的貢献	<input type="checkbox"/> 経営マネジメント <input type="checkbox"/> 業界発展への寄与	<input type="checkbox"/> 獣医療動向、社会ニーズを踏まえた院内・組織運営 <input type="checkbox"/> 専門実践技能の能力開発	<input type="checkbox"/> 各研修会等における座長	<input type="checkbox"/> 短期・中長期計画立案・運営	<input type="checkbox"/> 専門領域の実践・指導力の向上	<input type="checkbox"/> 業界の目標達成に向けた主体的行動 <input type="checkbox"/> 業界におけるリーダーシップ	<input type="checkbox"/> 関連業界のビジョン確立
7	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護主任クラス チーム獣医療における中核人材 専門学校(2)卒業後15年経過 	高度に専門化された知識。その内いくつかは、仕事／学習分野における知識の最前線。異なる分野の知識・理解	実務／学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能	実務／学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能	実務／学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能	実務／学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能	実務／学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能	複雑で予測不可能な課題に対する革新的な取組が求められる仕事や学習の管理。専門的な知識・実践と管理への貢献・評価	複雑で予測不可能な課題に対する革新的な取組が求められる仕事や学習の管理。専門的な知識・実践と管理への貢献・評価
		<input type="checkbox"/> 獣医療最新動向 <input type="checkbox"/> 感染予防管理 <input type="checkbox"/> 防災管理 <input type="checkbox"/> 他職能団体・学術団体の活動に対する理解	<input type="checkbox"/> 獣医療安全管理 <input type="checkbox"/> 院内外での研修会における講師や助手 <input type="checkbox"/> 学会等における研究成果発表（効果的プレゼンテーション）	<input type="checkbox"/> 動物看護の実践モデル <input type="checkbox"/> 獣医師との連携による動物看護の質向上、専門性向上活動	<input type="checkbox"/> 対象者およびその家族との信頼関係の構築 <input type="checkbox"/> 院内スタッフのコミュニケーション能力育成の醸成 <input type="checkbox"/> 地域関係者、学界関係者との積極的交流 <input type="checkbox"/> 組織的な研究活動の推進	<input type="checkbox"/> 短期・中長期計画の理解 <input type="checkbox"/> 院内チームの教育企画運営 <input type="checkbox"/> 院外組織の業務改善	<input type="checkbox"/> OJTを通じた臨床実習指導 <input type="checkbox"/> 学習・研究成果の伝達と活用 <input type="checkbox"/> スタッフの研究能力向上支援	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に対する関心 <input type="checkbox"/> 所属組織の目標達成に向けた主体的行動 <input type="checkbox"/> 院内・チームでのリーダーシップ <input type="checkbox"/> 自己のキャリアアップの認識	<input type="checkbox"/> 院内・チームのビジョン <input type="checkbox"/> 倫理的および獣医療安全上の諸問題の対応 <input type="checkbox"/> トラブルに関する道徳的、倫理的見解をもった対応 <input type="checkbox"/> 倫理的完成（後輩の模範）
6	<ul style="list-style-type: none"> 自立して臨床実践ができる 専門学校(2)卒業後10年経過 	理論や原理の批判的思考を含む、仕事／学習分野に関する高度な知識・理解	仕事／学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度なスキル	仕事／学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度なスキル	仕事／学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度なスキル	仕事／学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度なスキル	仕事／学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度なスキル	技術的・専門的活動を管理し、予測不可能な仕事や学習の場面で意思決定を行う責任。個人や団体の専門的な開発を管理する責任	技術的・専門的活動を管理し、予測不可能な仕事や学習の場面で意思決定を行う責任。個人や団体の専門的な開発を管理する責任
		<input type="checkbox"/> 対象動物のQOL <input type="checkbox"/> 重篤化回避の方法 <input type="checkbox"/> 回復支援のリハ看護方法	<input type="checkbox"/> 臨床現場における研究的視点 <input type="checkbox"/> 研究のプロセス <input type="checkbox"/> 学会発表で用いる研究方法 <input type="checkbox"/> 職能団体の社会的意義 <input type="checkbox"/> 院内での学習課題理解 <input type="checkbox"/> 種々の報告書作成	<input type="checkbox"/> QOL向上を目指した動物看護 <input type="checkbox"/> 安全な動物看護 <input type="checkbox"/> 動物看護の実践介入・評価 <input type="checkbox"/> 急変時対応	<input type="checkbox"/> 退院支援・退院後支援に関する飼主への指導・助言 <input type="checkbox"/> 院内における人間関係の認識 <input type="checkbox"/> 多職種との協業・連携	<input type="checkbox"/> アセスメントや看護計画立案	<input type="checkbox"/> 後輩や実習生に対する支援 <input type="checkbox"/> 院内学習計画の立案 <input type="checkbox"/> 院内資源（人・物・予算・情報）の有効活用を目指した調整	<input type="checkbox"/> 動物看護師間のリーダーシップ <input type="checkbox"/> 倫理綱領への配慮 <input type="checkbox"/> 倫理的完成を高める中で、対象者への共感的理解と対応	

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能					責任と自律性	
			汎用的な技能	職務上の技能			自律性と責任感	倫理観とプロ意識	
				専門実践技能	対人技能	分析技能			管理・指導技能
5	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの一員として臨床実践ができる ・専門学校(2)卒業後5年経過 	仕事/学習分野における総合的、専門的、事実に、理論的な知識と、その知識の批判的認識	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的技能	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的技能	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的技能	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的技能	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的技能	予期せぬ変化がある仕事/学習活動の主体的管理と監督。自己と他者の業績の点検・開発	予期せぬ変化がある仕事/学習活動の主体的管理と監督。自己と他者の業績の点検・開発
		<ul style="list-style-type: none"> □ 疾患種類、対象動物の性質 □ 飼い主の権利 □ 獣医師の診断結果と看護における問題点に対する理解 □ 院外連携 □ 臨床における疑問・不確実な知識・技術 	<ul style="list-style-type: none"> □ 成果のまとめ方 □ 研究の基礎知識 □ 文献活動、研究発表 □ 職能団体の意義・役割 □ 社会との連携・職能団体での活動への参加 □ 社会人としての基礎力 	<ul style="list-style-type: none"> □ 種々の報告書作成 □ 基準・手順に沿った安全な動物看護 □ 安全管理・感染予防・防災対策 	<ul style="list-style-type: none"> □ インフォームドコンセント □ 自分の考えを他者に伝える □ 対象者や他人の意見・考えの尊重 □ 異業種の方とのコミュニケーション □ 報告・連絡・相談 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日々の臨床事例の振り返り、課題の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> □ 組織の理念・方針の理解 □ 組織メンバーの役割を理解した行動 □ 臨床実習の指導とその意義 □ 後輩の援助や支援 	<ul style="list-style-type: none"> □ 社会人また獣医療人としての自覚 □ 組織の一員としての責任感 □ ジョブアンカー 	<ul style="list-style-type: none"> □ 倫理綱領への配慮 □ 個人の尊厳やプライバシーへの配慮 □ 動物福祉への配慮
4	<ul style="list-style-type: none"> ・認定動物看護師資格合格レベル ・愛玩動物飼養管理士1級 ・動物看護師分野に対する基礎的な知見を有している。 ・基礎動物看護学を修得している ・専門学校(2)卒業後0~2年経過 <ul style="list-style-type: none"> □ 応用動物看護学 □ 臨床動物看護学 □ 実習 	仕事/学習分野における幅広い文脈の中で事実と理論の知識	仕事/学習分野における特定の問題の解決策を産み出すために必要な一連の認知・実践技能	仕事/学習分野における特定の問題の解決策を産み出すために必要な一連の認知・実践技能	仕事/学習分野における特定の問題の解決策を産み出すために必要な一連の認知・実践技能	仕事/学習分野における特定の問題の解決策を産み出すために必要な一連の認知・実践技能	通常は予測可能であるが変化する可能性のある仕事や学習の文脈の中での自己管理。他者の日常業務を監督し、仕事/学習活動の評価・改善	通常は予測可能であるが変化する可能性のある仕事や学習の文脈の中での自己管理。他者の日常業務を監督し、仕事/学習活動の評価・改善	
		<ul style="list-style-type: none"> 下記各項目の理解 □ 動物形態機能 動物の体の構造と機能 □ 動物行動 人と動物の調和に関わること □ 人間動物関係 人と動物の調和に関わること □ 産業動物・実験動物・野生動物について 様々な動物の特性と人との関わり □ ターミナルケア 重篤なまたは終末状態の動物と飼い主のQOLを考慮した対応 □ 安楽死 安楽死も治療の一端であること 	<ul style="list-style-type: none"> □ IT PCの基本的アイテムの理解と活用 □ 会計学の基礎 □ 基本的な情報収集力・分析力 □ 基本的な情報発信力 □ 語学力(英語など) 動物病院の受付対応、電話業務対応 可能程度の会話力 	<ul style="list-style-type: none"> □ 動物の臨床看護に必要な基本的知識・技能の修得 □ 機能障害を持つ動物に対する看護法、評価・介入方法の修得 □ 術前・後管理 手術に必要な術前の動物、器具や手術環境、執刀獣医師や関係スタッフ全てに必要な準備の修得 □ グルーピング 治療中や機能障害のある動物を衛生で清潔にする技術の修得 □ トレーニング 動物と人との良好で健全な絆を保つために必要なトレーニング技術を修得する □ バイタルチェック 共に生活する動物の健康を知り、異常を早期に見て発見するための技術を修得する 	<ul style="list-style-type: none"> □ クライアントエデュケーション 動物看護師の倫理綱領第3条「動物看護師は、看護動物の飼育者との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する」の基本的理解とその実践技能 □ 院内コミュニケーション 動物病院業務に必要な基本的対人技能の修得 	<ul style="list-style-type: none"> □ 動物看護課程の展開 入院動物や機能障害を持つ動物に対する動物看護過程の展開の基本的な理解とその実践 □ 動物看護記録 個人のための記録のみならず、チーム獣医療として協働者の理解と飼い主への伝達に必要な記録方法の修得 	<ul style="list-style-type: none"> □ 研究発表 動物看護師の倫理綱領第11条「動物看護師は、看護実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、動物看護学の構築と発展に寄与する」の基本的理解とその実践 □ プレゼンテーション 論文や報告を公表することによって評価を得、互いに情報を共有し工夫し合うことで技術が向上し動物看護研究へと発展することに対する理解 	<ul style="list-style-type: none"> □ 動物看護総合実習 修得した知識の実践力を身につけることを目的とした動物病院での実習体験 □ ボランティア活動 参加活動している場のリーダーの指示に従った後輩への伝達や指導的行動 □ チーム獣医療 動物看護師の倫理綱領第7条「動物看護師は、自己の意志を持ち、自己の責任と能力を的確に認識しみずからの看護に責任を持つ」。第9条「動物看護師は、他の動物看護師及び動物医療関係者と共同して、良質な動物看護を提供する」の基本的理解 	<ul style="list-style-type: none"> □ 獣医療倫理 動物看護師として勤務するが、チームで協働する獣医師としての医療倫理を理解。 □ 地球は一つ・ワンヘルスに関わる福岡宣言 日本獣医師会平成26年の日本獣医師会と日本獣医師会の協働宣言 □ 動物看護倫理 動物看護師の倫理綱領第1条「動物看護師は、動物の生命、動物の権利を尊重し、動物福祉の向上に努める」を理解 □ 守秘義務 動物看護師の倫理綱領第5条「動物看護師は、守秘義務を遵守し、業務上知りえた飼育者ならびに看護動物の情報の保護に努め、また、これを他者と共有する場合には十分な配慮のもとに行う」を理解

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能					責任と自律性	
			汎用的な技能	職務上の技能				自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校（1）在学 ・愛玩動物飼養管理士2級 ・動物看護師に対する基本的な知見を有している ・基礎科学（数学・物理・化学）に興味がある ・基礎的計算力を有している ・一般的な国語力を有している <input type="checkbox"/>基礎動物看護学 <input type="checkbox"/>応用動物看護学 <input type="checkbox"/>臨床動物看護学 <input type="checkbox"/>実習 	<p>仕事／学習分野における事実、原則、プロセス、一般概念の知識</p>	<p>基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践技能</p>	<p>基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践技能</p>	<p>基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践技能</p>	<p>基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践技能</p>	<p>基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践技能</p>	<p>仕事や学習の完了に対する責任。問題を解決する際の状況に対する自己の行動の適応</p>	<p>仕事や学習の完了に対する責任。問題を解決する際の状況に対する自己の行動の適応</p>
		<p>下記各項目の学び（基本的な理解レベル）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>動物医療関連法規 人と動物の調和に関わるのに必要な法規 <input type="checkbox"/>動物形態機能 動物の体の構造と機能 <input type="checkbox"/>公衆衛生 人と動物の健康の調和に関わること <input type="checkbox"/>動物病理 疾病の成り立ちと回復の促進への寄与 <input type="checkbox"/>動物臨床検査 動物病院業務に必要な知識 <input type="checkbox"/>動物臨床栄養 動物病院業務に必要な知識 <input type="checkbox"/>伴侶動物 様々な動物の特性と人との関わり <input type="checkbox"/>動物看護学概論 人と動物の調和に関わること <input type="checkbox"/>動物繁殖 動物の体の構造と機能 <input type="checkbox"/>動物感染症 疾病の成り立ちと回復の促進への寄与 <input type="checkbox"/>動物薬理 疾病の成り立ちと回復の促進への寄与 <input type="checkbox"/>動物飼育（動物内科看護） 動物の臨床看護に必要な動物内科学の知識 <input type="checkbox"/>動物外科学 動物の臨床看護に必要な動物外科学の知識 <input type="checkbox"/>動物福祉 人と動物の調和に関わること 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>高等学校学習指導要綱に基づく学力・能力が十分に備わっており、且つ専門分野の知識吸収に対し旺盛な意欲がある <input type="checkbox"/>ITという言葉を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>動物形態機能学実習 修得した動物形態機能学の知識の実践力 <input type="checkbox"/>顕微鏡操作 健常の代表的組織、血液像、検便、尿中成分、皮膚スタンプなど採材を観察できる正しい操作方法 <input type="checkbox"/>動物臨床検査実習 修得した動物臨床検査学の知識の初歩的実践力 <input type="checkbox"/>動物内科看護実習 修得した動物内科学の知識の初歩的実践力 <input type="checkbox"/>動物外科看護実習 修得した動物外科学の知識の初歩的実践力 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>グリープケア 動物との死別を知らされた時期を含めて死に直面する飼い主への対応、動物を亡くした飼い主への対応、亡くなった動物の対応とその後のケアなどの初歩的スキル <input type="checkbox"/>社会人コミュニケーション 社会人としての一般教養と礼儀作法 <input type="checkbox"/>接遇とホスピタリティ 来院する全ての人と動物にとって快適な環境作り、応対ができる飼い主と動物病院が動物の終生飼育を共に実践できるような関係づくりの初歩的スキル 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>QOLの理解 動物と飼い主を対象とした生活の質の向上であることの理解とその初歩的実践 <input type="checkbox"/>観察 動物看護学の知識に基づいて動物や飼育する環境の初歩的観察力 <input type="checkbox"/>記録 個人のための記録のみならず、チーム獣医療として協働者の理解と飼い主への伝達に必要な記録の基本的な方法 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>プレゼンテーション 個人やグループ内での検討や調べたことを衆人に向けて発表することの初歩的スキル 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>動物看護総合実習 実際の動物病院の体験見学等、修得した知識の総合化実習を通じた動物看護職としての初歩的な自律性と責任感。 <input type="checkbox"/>ボランティア活動 良い社会づくりのために社会的認識を深め地域の人々と関わりを持つよう努めることに対する責任感 <input type="checkbox"/>社会人としての義務の認識 <input type="checkbox"/>成人としての義務の認識 <input type="checkbox"/>情報収集方法に関する基本的認識 <input type="checkbox"/>他者との交話方法に関する基本的認識 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>動物看護倫理 一般社団法人日本動物看護職協会「動物看護者の倫理綱領」を理解する <input type="checkbox"/>守秘義務 臨床の場で見学・研修、実習など関わった全てを守秘することの理解、不特定多数への情報発信の是非についての共通倫理 <input type="checkbox"/>アニマルウェルフェア 動物愛護と福祉の違い、欧米諸国と日本のアニマルウェルフェアの歴史と意識の違いなどに関する基本的認識